

矢作川・水の旅

2012～2014



矢作川源流の最高峰・大川入山（1,908m）

（蛇峠山“馬の背”からの眺望。山頂部南側と西側は原生林伐採後クマザサの笹原。コメツガ・トウヒ等が生育する亜高山帯針葉樹林。）

矢作川・水の旅

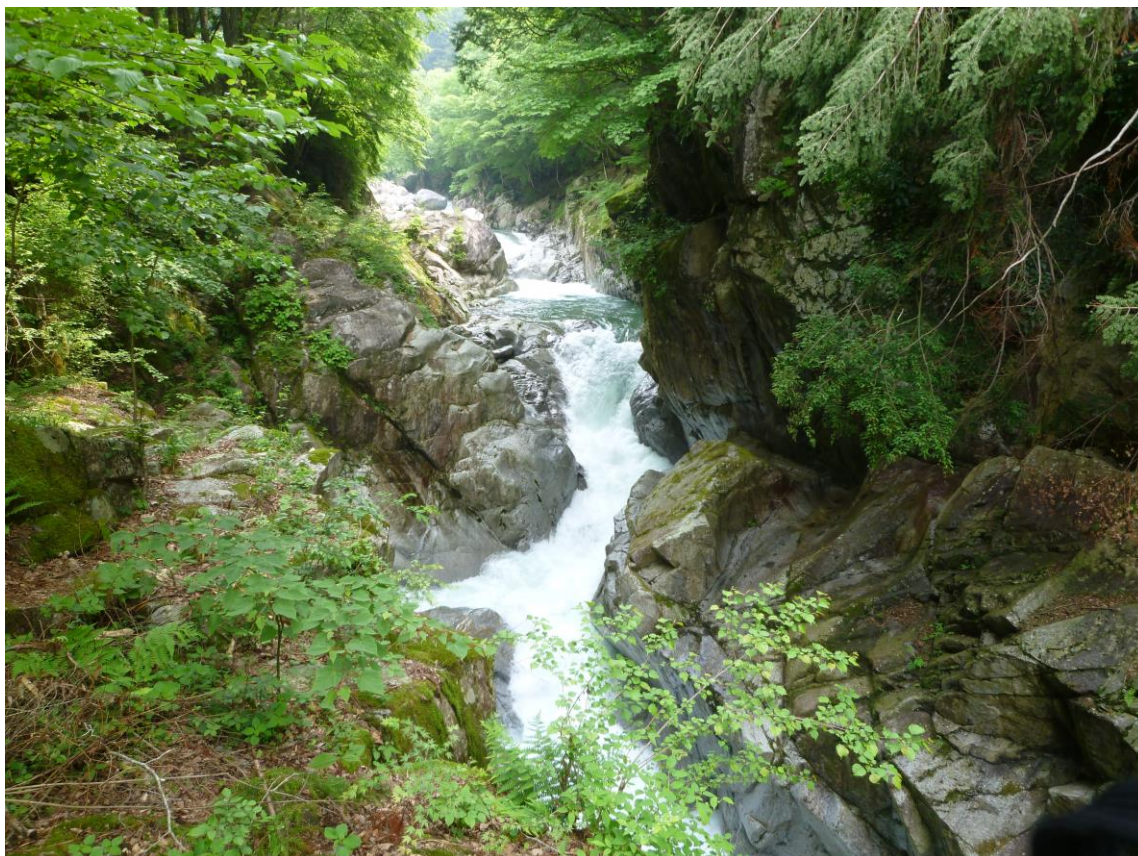


源流域：高嶺山（1,574m）から真南の俯瞰（構造谷の谷底は平谷村の中心部）晩夏



源流域：上村川の清流（左・右岸：岐阜県恵那市、右・左岸：長野県下伊那郡根羽村）
（後方：下伊那郡平谷村・明治用水水源林、手前：明林橋の淵）初夏

矢作川・水の旅



喉の滝（旧上矢作町名勝 昭和 50 年 6 月指定）の奔流 初夏

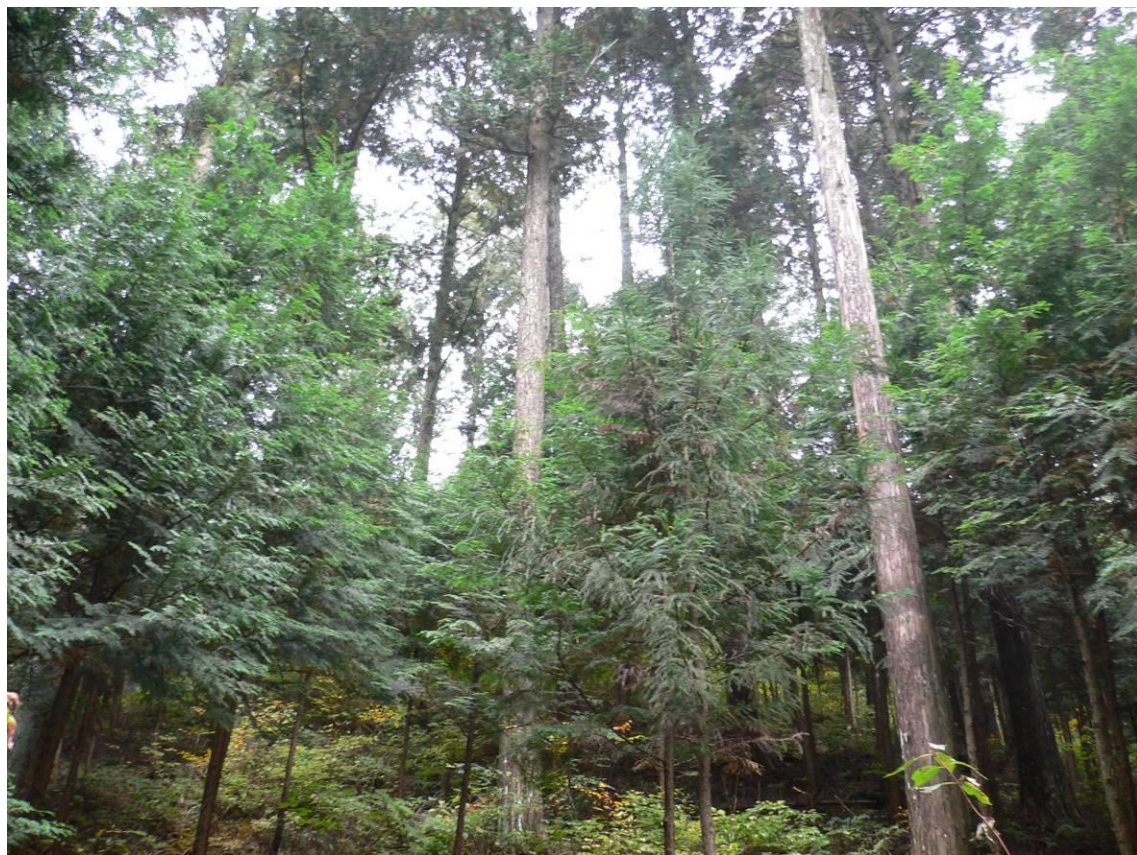


東海豪雨（恵南豪雨）から 10 年、被災地の恵那市上矢作地区中心部を流れる上村川
（左岸の支流は飯田洞川）

矢作川・水の旅



源流域・段戸裏谷原生林（設楽町）、段戸川最上流の自然林 晩秋



上流域・名倉川流域の非皆伐施業複層林（豊田市稲武地区） 仲秋
（古橋林業の林分）

矢作川・水の旅



くだる・・・上流域・名倉川最下流の押川大滝（落差約 8m）晩夏



中流域・新富国橋付近の山間地を流れる矢作川（富国橋は東海豪雨で流された。復旧した富国橋から上流側に建設された新橋方向の河川景観。この撮影後、旧橋は撤去されて現存しない。）初夏

矢作川・水の旅



中流・拳母盆地中央・トヨタスタジアム付近の矢作川（アユ釣・遊魚者の姿が多い）
矢作川は水質とともに水生動植物・外来種、水辺～河床、河畔植生、防災・利水・親水にと関心が多彩。



下流 揺れる・・・矢作川のヨシ帯と砂洲（碧南）初夏

矢作川・水の旅



下流 めぐみ・・・矢作川の河口干潟（碧南・西尾）干潮時やトジミを採る老若男女、初秋



還る・・・三河湾・一色干潟（前浜干潟）衣崎地先「百間州」の一部約 70ha。干潟観察会の様子。